

開催日時：平成 1 8 年 1 0 月 1 7 日（火） 17：00～19：00

開催場所：総合システムサービス 5 階会議室

参加者：中川、直江、増田、馬場、土井、福本、徳増、藤関、木下、宇野、石井、古川、  
事務局長：和田

配布資料：

(社)システムエンジニアリング岡山・(社)京都府情報産業協会との情報交換会のご案内  
京都府の運営目標(総務部、環境部、商工部)

共同アウトソーシング事業について

平成 18 年度における京都府の I T 活用施策

## 議事

### 1. 試作グループ連絡会議(9 月 22 日)での宿題

京都ビジネスパートナー交流会の出展要請に関して

- ・ 出展を呼びかけたが参加要望のメールは無かったので、今回は出展を見送る手続き実施を了承する。

試作アドバイザーを各グループから出す要請に関して

- ・ グループ内の情報を良く掴んでいる者の条件が付いているので地域情報化委員長の古川を登録しておく。技術的な問題等に関しては適宜代理に対応させる。

京都試作センターと交わす基本契約に関して

- ・ 具体的な案件が出てきた際に個別企業単位で検討し契約するものとする。

その他

- ・ 本格的な活動に入っているが、現時点では成約に至っていない状況である事が報告される。

### 2 . システムエンジニアリング岡山(S E O)の来京時(11 月 17 日)の対応に関して

事業推進委員会で了解を取り付けている行事の次第を説明する。岡山の部隊(14 名)より京都側が第一部で少ないのは問題ですと参加を要請する。基本的には了承される。

### 3 . 京都府の I T 施策等に関して

- ・ 今まで商工部、環境部を中心に京都府の動きを地域情報化委員会としてはウォッチングしてきた。総務部、環境部、商工部の運営目標の一覧を古川より説明し、地域情報化委員会としての軌道切替えの必要を指摘する。
- ・ 京都府の実状に詳しい(株)ケーケーシー情報システムの宇野監査役より共同アウトソーシング等を懇切丁寧に解説していただいた。概要は以下の通りです。  
)総務省が企画された共同アウトソーシング(現猿渡副知事が企画された)には、地域 I T 企業の関わりや雇用の促進が計画の中にあっただが、京都の共同アウトソーシングは同様な計画にも拘わらず地域 I T 企業振興や地域の雇用促進は抜けてい

るようである。

- )共同アウトソーシングされる市町村業務の共同化の考え方及び取組状況
- イ) 基幹業務とは住記 / 税務 / 料金等の業務を指している。K K C / K I P / N T T コミュニケーションの共同企業体が担当している。
- ロ) バックオフィス系とは財務会計(O E C が担当)、人事(K K C が担当)、給与(T I S が担当)、文書管理(富士電気が担当)、総務事務(N E C が担当)の業務を指している。
- ハ) フロントオフィス系とは電子申請(富士通が担当)、施設予約(N E C が担当)の業務を指している。
- 二) 統合型 G I S は各自治体で取扱い易い地理情報システムでパスコが担当している。
- ホ) この様にいろんなベンダーが担当しているので全体としての整合性や必要な機能範囲を網羅しているか等の課題が予測される。
- )京都府自治体情報化推進協議会に関して
- イ) 市長会と町村会を併合し、京都府自治体情報化協議会を構成している。
- ロ) 共同化を推し進める開発部門は総務部の電子府庁推進室の原田室長が担当し、共同化後の運営部門は環境部の伊藤 I T 政策監の部署と理解すればよい。
- ハ) 京都府のホームページをチェックすれば京都府自治体情報化推進協議会の企画提案や入札等の情報の取得は可能である。とくに企画提案の公募の説明会に参加する等して徐々に理解する事が肝要である。
- 二) 共同化の A S P サービスのモデル市としては綾部市、個別自治体導入のモデル市としては宇治市が該当する。京都市は別格的な扱いである。
- )その他
- イ) 民間と異なり説明に関しては協力していただける。ホームページの内容では理解できない場合には担当部署に訪ねる事で十分な説明がいただける。
- ロ) 17 日の原田室長の講演を聞けば一層良く理解出来ると考えられる。

以上